

獨逸の子供に代りて

獨逸大使館參事官　メヒレンブルヒ博士

西洋に斯ういふ國が御座いました。その國の住民である百姓や商人や職人等は、至つて勉勵する人達で、農業だのその他の職業に熱心に従事して居りました。それですから此國の幸福も、品位も是等の人の勞働によつて高まつて參りました。山からは石炭を出し、鐵を産し、工場の煙突からは盛に煙を吐きました。又此國の船は世界の港にあらはれ、遠い遠い日本に迄も參りました。その人民は至極簡易な生活を送り、幸福と云ふものを充分享樂しました。何人も自分自身に要するだけの物は所有して、空腹を忍ぶ人などは御座いませんでした。

又此國には學問と教育とが旺盛を極めまして、藝術も榮えました。まことに幸福に充ち、光輝赫々たる國で御座いました。

然るに突然此國の空に暗雲がたゞよひまして、最初は隣國に於ける小さい雲でありましたのが、終には大空一面を覆ふやうになりました。東西を問はず

凡ての地平線には、物凄いな音が轟き、雷光石火を相交へまして、全く煙雨の天地と化し、大戦争の世とはなりました。此處の住民は、勞働、學問、藝術に力を盡したのみならず、軍事にも勵んで、五年以上の歲月に互つて、前後左右の敵を防禦して居りました。

此間に此國の船は優勢なる敵國により方々に追ひつめられました。今迄幸福の夢を見てゐました此國、實は獨逸の人民が種々の缺乏に惱み始めました。平時に於ては、丁度、日本に向つて多くの米が、支那や、印度から參りますやうに、獨逸の人口増殖による食糧の不足は、海外から輸入を仰いで居りました。初めの中は少々食物が足りなくとも、格別心配は御座いませんでした。蓋し、戦争は間もなく終局を告げることを思ひましたし、最少の地面にも穀物や野菜を一生懸命に作りました。先づ一時はそれで間に合ひましたが、それから悪作が續きました。最早ど

の土地も叢のやうになつて收穫を得られぬことがわ
かりました、その理由は外國から来る肥料が足りな
い爲めに、よく實ることが出来ない爲めで御座いま
した。

そこで事情が悪化しました。日本で食べます白麩
麵は歐洲人の主要な食物で御座いますが、之が全く
なくなつてしまひました。それからひどい混ぜ物を
して終には黒麩麵を食べるやうになりました。更に
又ひどくなりましては、馬鈴薯、蕪などを混ぜた麩麵
を拵へ、甚だしきに至つては、人を養ふ處でなくな
りました。病氣に導くオガ屑やその世ひどい物を混
せた麩麵をたべなければならなくなりました。麩麵
の不足のみならず、肉も段々少くなりました。牛や豚
などの食物が乏しい處から、畜類を多く飼ふことが
出来なくなり、此處に又牛乳の缺乏を來しました。
男子の多くは、戰場に出ますので、婦人ご子供ご
は全力をあげて、その留守をまもつたのですが、
田畑から、牛馬に至るまでの世話は、どうも充分に
行きごきませんでした。漁師の大部分は海軍に召
集されて、軍艦に乗り込み、残つた僅かのものが、
出漁しましても、海は敵國の船にたえずおびやかさ

れ、その上、水雷がどしどし敷設されましたので魚
も亦、稀になつてしまひました。

此海にも山にも乏しくなつた食物のうち少しでも
よいものは、よく戦ひ得られるやうにご戰場に送つ
てしまひました。しかし、やがて、それを得るさへ
困難になりました。

私は開戦後に三年目に獨逸に歸りまして、從軍い
たしました。その時の苦痛は申上ようもございませ
んが、既にこの時、我々兵士は一日も空腹でない日
はありませんでした。一日二食、それも僅かの量で
した。空腹ではたらき、空腹でねむりました。

戦後二年間獨逸に於て、一切の食物は政府の切符
でなければ買はれませす、その上食物も極めて僅か
になりました。そのために、不正の方法をさる人の
他は、皆いつも空腹を抱いて居りました。衣服も同
様で獨逸には本綿はございませんし、羊毛も少し、
かありませんから、これ等は皆外國から輸入して居
りましたのですが、輸入のたえた後、其時迄貯へて
あつたものも無くなりませすし、段々著るものさへ乏
しくなりました。靴も亦同様でございませす。

人間が平時、數年間も充分に食し得ず、寒い處で、

しかも衣類が不充分であれば、大變な不幸を感じ、とても我慢は致しますまい。併しながら、戦争の際には、人々は、唯戦に勝ちたいばかりに、すべてを忍びます。望みの的は、たゞ勝利の一にあるのみです。獨逸の人民が、あの大戦中、いかに多くの苦痛に堪えましたか……、私はこゝで容易にお話が出来ません。勝利をまてばこそ、苦痛を忍びました。併し獨逸は勝利を失ひました。

既に、二年前に休戦となり、一年半前に、平和となりました。

かくて、この永い間の空腹の終が来る時を、獨逸國民は、いかに心から、待ちこがれて居たのでございませうか。皆様も恐らくお察しがつきますでせう。この苦しみ、戦争とにも終つたでせうか。いえ、なか／＼、どういたしまして。何故此の苦しみが終りをつげないかといふ事を申上るよりも、唯々此處には平和一年半後の今の獨逸の有様が如何であるか、之を申し上げることに致します。

戦に敗れた獨逸は、數萬の人間を死に送り、多大の金を戦争につかひつくした今日、食物を充分に自國でつくる事が出来ず、また、外國から買ひ入れるこ

とも出来ません。もし、此の東京で、貧乏な者が、米屋へ行つて「私に賣つて下さい。今に働いて金を儲けたら拂ひますから」といつても、米屋はことほるでせう。獨逸においても同様です。アメリカに向つて、我が同胞が饑餓に瀕して居るから、肉を賣つて下さい。又、子供に乳がなくて育ちませんから、どうかそれを送つて下さいといへば、米國は、當然、「代金は？」と問ひませう。獨逸は「今、それは拂はれません」といふより外に仕方がありません。

大人は六年間の空腹に馴れました。辛いながらも自分の口をつめて、子供に與へました。子供は成長する時ですから、勿論、大人のやうに空腹はたえられません。子供には、これは一層苦しいこととございませう。無邪氣な子供を餓えさせるべきではございませぬ。子供は戦争に對して罪はございませぬ。何にもしらないのです。子供は、たゞ、親から可愛がられて遊んでゐればよいのです。また、少し大きくなれば、學校に參り、愉快な心で勉強して、立派な人間にならうとする外に何にも苦しめられるべきも

のではございませぬ。
叔、今のこの國の子供は如何でございませうか。

私は、昨年中、故國で、しばし小學校の前を通りまして、子供を眺めました。何か遊びらしい遊びをして居る子供は殆んどございませんでした。顔は蒼ざめ、手足は力なく、たゞ、ちつとして居りました。遊びをするだけの力がありませんのです。私がある日公園に腰かけて居りますと、小學校からかへるらしい生徒の一人が、私の前を通りましたので、私はそれを呼びとめて訊ねました。

「もう何かよめるようになりましたか」と、子供は、「はい」と答へて、勿論といふやうな様子を致しました。「何歳？」ときいてみますと、「九ツ」と答へました。私はびつくり致しました。六ツにもならないと思はれる位に小さかつたのです。全く食物が足りないの、發育ざかりを大きくなれないのです。このやうに大きくなれない子供は、今や、獨逸には數萬を數へ、その半分は病身です。その病人の如何に多く、又、いかにひどいかは、充分申上げられません。あまり惨めな有様です。たゞ、こゝに一二の例をお話して、あとは察して頂きたいのです。

それが勞働階級ばかりでなく、中産社會の者、例へば、商人、官吏、教員等の子供が、今や嘗つての

貧民のそれよりもひどい状態になつて居りますのです。

私は、三四ヶ月前に國に居ります母に、米一升位と、コンデンスミルクと、その他少々の食物を送りました。やがて、母からの手紙によると「涙ながらに喜んだ」とのことでございます。戦前ならば、これらのものは何處の店で、僅かの金で、また誰でも買ふことの出来た些細のものです。こんな物さへも、今は、餘程の金持でなければ、手に入れることの出ない物となつて居ります。

私の母は老人で、その上、永い間、空腹をつけて居りますので、衰弱して居ります。母自ら、乳が必要であるにも拘らず、貰つた乳は、弟の子供にやらうと思ふと書いてありました。この、母の弟は、まだ壯んな人で、子供が四人あります。化學者で、戦前には樂に暮して居りましたが、戦争中から今日迄、前に申しました通り、子供に適當な食物を與へられませんし、また今、よしあつても、高くて買つてやれません。その結果はどうなつたことせう。この叔父には、十二歳の娘がありました。いたつてまめな子でございし、まして學校でもよい成績を得て居りました。昨年、私が、日本に參ります前に會ひました時、少しく衰へた様子でした。その後、母の手

紙で、段々蒼ざめて瘦せて参りましたといふことをきいて居りました。しかるに、此度の手紙に、次のようにしらせて來ました。この子が、或る日、學校で、先生に何か尋ねられました時に、立ち上つて返答をしようとしたら、突然、倒れました。それは、榮養不足の衰弱が原因でした。氣絶したと思ひましたら、さうではありませんでした。娘は死んでしまつたのでした。そのまゝ、両親の家に届けられました。……

このやうに衰弱して、そのために學校へ行かれない子供が、今、獨逸には、何萬人とあることは、事實で、全國の統計をごらん下さればわかります。それ故、遊ぶなどいふことは是等の子供の頭には全くございませぬ。たゞ、腹痛を覺えるほどの空腹に於いてのみ考へて居ります。幼稚園に参りましても、身體をうごかせば、なほお腹がすいてつかれますから、ちつとすわつてゐます。たゞ先生にお話をせがみます。そのお話のうちに、「よいをぢさんがお菓子をもつて來て」などと、うっかり食物のことが出て参りますと、子供等は、もう、その方に氣をとられて、「私達のところにもさういふ、人が何でもいゝから持つて來て」と叫びますし、かはいゝ頭をさげて、神様にそのをぢさんの來るやうにと、お祈りするものなどあつて、お話のすぢをつけることも出來なくなります。小學校へ生徒が來るには來ますが、頭はま

るではたらかず、全く空腹のことだけに占領されてゐますから、先生も授業をなか／＼渉らせることが出來ませぬ。

ひどい衰弱のために病身になつた子供が、病院に引きとられましたも、物資缺乏の困難にはあまり變りはございませぬ。例へば、一番大切な繃帯がなく、その代りに、紙を用ひて居ます、寢牀には敷物がなく、衣類もありませぬ。また、何處の病院も、このやうな子供は満員ですから、食物が充分でありませんが、百人中、八十人乃至九十人は、重い貧血病です。都會よりも割合によいといはれてゐる田舎がこの通りです。また最近届いた寫眞を見ますと、伯林市に於て、七八歳の子供が、やうやく三歳位の大さしかございませぬ。しかも、やつと七歳になつて歩かれるそうで、その理由は、食物の缺乏のため。恰も、赤兒のやうに、骨がかたまらないためです。

かうして、死をまつ獨逸の子供、困難に沈んでゐる子供、眞に泣いても／＼泣ききれないので、この惱みの間にも、やがて、救ひの手が來ることが、あの子供達に知れれば、うれし笑ひを忘れた彼等も、思はずニツコリ致しませう。一度でも、乳が飲まれ、満腹するだけに食べられた時の喜び、それはどんなでございませう。